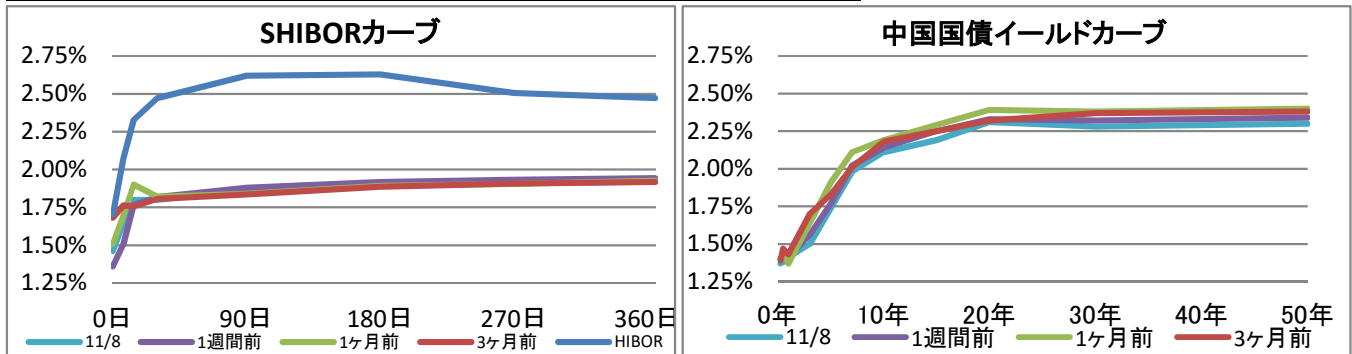


1.市場概況

基準レート		2024/11/8	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1433	+0.0298
	JPY/CNY	4.6658	-0.0142
SHIBOR	3M	1.8640%	-0.0150%
国債利回り	10年	2.11%	-0.03%
上海総合指数		3,452.50	+180.49



(1) 概況

国際金融市場では、米国での大統領選挙とFOMCを週後半に控え、週初からトランプトレードに対する調整が入っていたこともあり、トランプ候補の当選が確実になると、債券市場は急落し、株式市場は急騰して高値を更新。翌日にFOMCで予想通り0.25%の利下げが実施されると、債券市場に買戻しが入り、落ち着きを取り戻している。外為市場では、大統領選挙前にドル安方向の調整が入っていたことから、選挙後にドル高になっているものの、方向感のないレンジ取引となった。

中国金融市場でも、全国人民代表大会常務委員会での財政政策による景気支援への期待もあって、株式市場は米大統領選挙後に急騰していたものの、同委員会が公表した政策には直接的な景気支援策が含まれていなかったことから、上げ幅を縮小することとなり、債券市場では利回りが一段と低下し、外為市場ではドルが大きく反発する展開となった。

中国では、習主席が、トランプ氏への電話祝辞で対話強化と相違点の適切な管理への期待を伝え、李強総理は、國務院常務会議で、景気回復支援を目的に「貿易の安定成長促進に関する政策措置」を決議し、中国国際輸入博覧会で市場アクセスの緩和や電気通信、文化、医療分野等の対外開放推進方針を示し、メコン経済圏首脳会議では域内での貿易・投資の円滑化やインフラ・金融面等の地域経済統合加速を提案。全人代常務委員会は、地方政府の債務上限を3年間で6兆元（約130兆円）引き上げて隠れ債務置換を進めることを決議し、改正マネロン法を公表。王毅外交部長は、秋葉国家安全保障局長との会談で、新時代の要件を満たす建設的・安定的な日中関係を構築すべきとの意見を表明し、韓正国家副主席は、経済同友会訪中団に対して日系企業が優位性を発揮し中国での発展機会を掴むことへの期待を伝達。李・国家金融監督管理総局長は、中国銀行業協会大会で、重点・脆弱分野に焦点を当てた金融サービス体制の改善や一連の経済対策の遂行を促し、潘中国人民銀行行長は、外資金融機関との座談会で、最近発動した金融政策の概要や金融業・金融市場の開放方針等を説明し、中国人民銀行は、第3四半期の金融政策執行報告書を公表し、景気回復を支援する金融政策継続の方針を示した。なお、元相場下支えのため、中国国有銀行が本土市場で大規模なドル売りを実施したとの報道があった。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日14,001億元に対して、リバースオペ843億元を実施し、13,158億元を吸収。

(3) 主な経済指標

・財新非製造業PMI (10月) は52.0 (9月、50.3) と、輸出受注 (増勢は鈍化) を主因とする受注残の増加により、雇用や将来期待も高まり改善。この結果、製造業と合わせた総合PMI (10月) も、51.9 (9月、50.3) に改善。

2.資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.4610%	1.4610%	1.6500%	
1W	1.6450%	1.7200%	1.7000%	1.6500%
2W	1.8000%	1.7500%	1.8500%	1.6300%
1M	1.7990%	1.8500%	1.8500%	1.6400%
3M	1.8640%	2.0000%	2.0000%	1.8400%
6M	1.8950%		1.9000%	1.8700%
9M	1.9090%		1.9500%	1.8700%
12M	1.9200%	2.1200%		1.8600%

全人代常務委員会での経済支援策への期待が高まる中、中国人民銀行の潘行長の経済支援金融政策の継続発言が伝わると金利水準が低下したものの、同行の先週末の大幅な資金吸収により週後半には資金需給がややタイトな状況となっていること等から、金利低下は限定的となっている。ターム物の金利水準は、年内期日ものが1.8%台半ばに低下して取引されているものの、それ以外の出合いは限定的。

NCD市場も、金利水準が低下しており、ターム物の金利水準は、年内が1.6%台半ば、3カ月以降は1.8%台半ばへの低下が続いている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	4.61%	4.65%
1W	4.63%	4.65%
1M	4.75%	4.85%
3M	4.75%	4.80%
6M	4.65%	4.80%
12M	4.60%	4.80%

中国国内市場でも、FOMCでの利下げにより金利水準が低下し、1カ月は4.75%前後、3カ月が4.8%台前半で若干出合っているものの、長めの期間は金利水準を探る、様子見の状況となっている。

3.人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.37%		1.84%	1.91%	2.20%
6M	1.38%		1.85%	1.96%	2.23%
1Y	1.41%	1.60%	1.86%	1.99%	2.28%
3Y	1.50%	1.79%	2.05%	2.15%	2.50%
5Y	1.74%	1.99%	2.21%	2.30%	2.81%
10Y	2.11%	2.28%	2.35%	2.51%	3.16%

米国債券市場は、大統領選挙でトランプ前大統領の当選確実が伝わるとロングの投げにより大きく下げた（利回りは上昇）後、翌日のFOMCでの予想通りの利下げを受け、落ち着きを取り戻している。中国債券市場でも、米国の対中政策への懸念と全人代常務委員会の財政による景気支援への期待が交錯して小動きとなる中、全人代常務委からは期待された直接的な景気支援策は示されなかったものの、今後に期待を残したことや前日の米利下げ等により、落ち着いた値動きのまま週末を迎えている。この結果、10年米国国債利回りは4.30%（前週末比-8bp）へと低下に転じ、10年中国国債利回りは2.11%（同-3bp）に低下を続けており、利回り差は219bp（同-5bp）へと縮小に転じている。

中国債券のイールドカーブは、中長期ゾーンを中心に全体的に一段と下方にシフトしているものの、引き続きやや区々の動きとなる調整相場となっている。クレジットスプレッドは低下余地のある信用債の利回り低下が相対的に大きかったことから縮小に転じている。

4.先物為替市場

	USD / CNY
1M	-162.5 / -162.0
3M	-507.0 / -504.0
6M	-1,039.0 / -1,037.0
9M	-1,590.0 / -1,575.0
12M	-2,128.0 / -2,121.0

対ドル基準レートは7.1433と前週末比+298pipsのドル高元安、対円基準レートは4.6658と-142pipsの円安元高と、概ね市場実勢水準での設定が続いている。中国国内市場では、米大統領選挙前にドル安に転じて7.08台に下落したものの、トランプ候補が当選確実になると7.19台半ばまで急反発し、その後に国有銀行によるドル売りが伝わるとドルの上値が重く（元の下値は堅く）なり、米FRBの利下げ後には7.14台まで下落していたが、7.16台半ばに戻して週末を迎えている。

先物は、米金融緩和ペースが緩やかなものになるとの思惑に変化はなく、大統領選挙見通しを材料に動きがみられたものの、調整の範囲に止まっており、1年物は引き続き-2100台での取引に終始。

5.金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.83%		1.50%
6M	1.73%	1.81%	1.50%
9M	1.68%	1.73%	1.50%
1Y	1.65%	1.67%	1.50%
3Y	1.62%	1.65%	1.60%
5Y	1.72%	1.77%	
7Y	1.82%	1.87%	
10Y	1.92%	1.96%	

金利スワップ市場は、利率債利回りの低下が続いたことから、スワップ金利水準も中長期を中心に低下が続いており、スワップスプレッドも中長期を中心に縮小が続いている。

6.その他（週末に公表された経済指標等）

- ・CPI（10月）は、前年比+0.3%（9月、同+0.4%）と、食品価格の伸び鈍化や燃料価格の下落幅拡大等、広範な物価の伸び鈍化が確認され、前月比は-0.3%（9月、同+0.0%）と、食品価格の下落を主因に4カ月ぶりの下落に転じている。コア指数は、前年比+0.2%（9月、同+0.1%）、前月比+0.0%（9月、同-0.1%）といずれも低水準ながら上昇。
- ・PPI（10月）は、前年比-2.9%（9月、同-2.8%）と、採掘等の原材料品の下落幅拡大を主因に25カ月連続でのマイナスかつ11カ月ぶりの下げ幅となった。ただし、前月比では-0.1%（9月、同-0.6%）と、下落幅縮小。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。